

図書館だより

4月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

○印 休館日
月曜日・祝日(29日)
月末館内整理日(30日)

今月の新刊図書案内

世界を知るためのささやかな哲学
アルペール・ジャカール
日本史鑑定
アンネの伝記
メリッサ・ミュラー
行革700人委員会
朝日新聞経済部
とんでもない母親と
情ない男の国日本
マークス寿子

消費者トラブルQ&A
伊東良徳
火屋と人類
島崎達夫
親子で読む環境
ホルモンってなあに?
辻万千子
平松洋子

台所道具の楽しみ
スペースを生かした
草花のガーデニング
甲州街道七十二景
普及版
橋本豊治ほか
愛でもくらすえ
ビートたけし
ヴァイブレッタ
赤坂真理
チグリスとユーフラテス

夢の火
新井素子
はちまん 上・下
岩橋邦枝
薬子の京(みやこ) 上・下
内田康夫
三枝和子
戸梶圭太

闇の楽園
戸梶圭太
整形美女
戸梶圭太
インディアン・キラ
姫野カオルコ
シャーマン・アレクシ
この世で一番の奇跡
オグ・マンディーノ

外二二三冊

市立図書館
今日の一冊
『ねこと遊ぼう』
加藤由子 著 小学館
ねこのつめとぎって何のため?ねこの好きな食べものはなに?などなど、ねこを家で飼っている人、飼いたいと思っている人たちの疑問にパッチリ答える。

『定年後』
「もうひとつの人生」への案内
岩波書店編集部編 岩波書店
働き詰め10万時間の後、まったく自由に使える10万時間が待っている。この第二の10万時間を充実させるための知恵を、各界の達人の提言、定年後の諸人の手記、定年後の生き方の仕方から学ぶ。

図書館利用案内

児童図書
ブラジルの大地に生きて
ベーリング海峡をわたる
ベトナムの「子どもの家」
天気かへんだ
オゾンホールのなぞ
闇の守り人
ヘナイト・シーの壁をぬけて
これはあつこちゃん
算数の呪い
鳥おじさん
外九八冊

児童図書
ブラジルの大地に生きて
ベーリング海峡をわたる
ベトナムの「子どもの家」
天気かへんだ
オゾンホールのなぞ
闇の守り人
ヘナイト・シーの壁をぬけて
これはあつこちゃん
算数の呪い
鳥おじさん
外九八冊

市内に住んでいる方、通勤・通学している方ならどなたでも借りることができます。
●図書は一人三冊、二週間以内、中学生からは、雑誌のバックナンバー・カセット・CDも借りることができます。
参考調査相談
山梨県図書館情報ネットワークシステムにより、県内の図書館情報が即座に得られます。調べたいこと、聞きたいことなどありましたら、どうぞお気軽におたずねください。
また、予約リンクエスト図書の申し込みも受け付けています。

心の健康シリーズ(72)
越えなければならぬ
五つの発達課題(1)

二十一世紀を背負う子どもたちが「たくましく、健全に育って欲しい」という願いは、大人の誰もが希望しているところです。それには、心身の発達段階に合わせた子どもの発達課題を親がしっかり理解し、子育てにあたることが重要なことです。

子どもが成人するまでには、五つの段階があり、それぞれの段階には各発達課題があつて、これを順に達成していくことによって心身ともに健全に成長できるのであります。もしも、ある段階の発達課題を十分達成しないまま次の段階に進んだ場合は、発達課題を達成し得ない部分が人格形成上欠落したまま成人となってしまうのです。

この五つの発達課題とは:
①乳児期(0～2才) 母子の心理的分離
新生児は母子密着で母親は栄養を供給し、排せつの世話、外敵から身を守り、乳児はこれらの行動からスキミングを通して母子の絆を確かめ、安心して眠るのです。この母子の絆が不安定になると眠りは浅く、泣いたり、ぐずったりという行動を起こします。

この時期、親は子どもに十分愛情を受容させることが大切です。やがて子どもが成長し、離乳期に入ると必ず通過しなければならぬ重要な心理的過程に「母子の分離」があります。子どもの自我の発達重要な過程であり、また重要な課題でもあります。

この課題は幼児にとって大きな不安であります。同時にその不安を乗り越えて自我が芽生えるのです。

②幼児期(3～5才) 模倣学習
このころになると子どもは、大人の生活行動をまねたがりです。子どもは大人を見て学習しているのです。幼児が大人になろうとする気持ちの表れで、これを「同一視」といいます。

同一視とは子どもが大人のすべてをまねしようとすることです。から言葉から話し方、態度まで善悪の判断なしに学習し、まねします。それだけに両親の影響が大きいわけです。

③児童期(6～10才) 体験活動
この時期の子どもは動作が機敏になり、知的好奇心も盛んで、行動範囲も広がり、仲間との遊びの中で多くの体験学習を積み、この活動こそがこの児童期の発達課題なのです。

この時期、子どもは仲間とのいろいろな遊びを通して技術や社会性、礼儀、思いやりの心、忍耐力などをはぐくみ、自分を高めていくのです。

残りの二つの課題④⑤については、来月号に掲載します。

※参考文献
筑波大学名誉教授 鈴木博雄 著
「子供の心と思考の育て方」
子どもの悩みとは
教育相談室へ
(八朔屋台展示庫前)
月々金 午前8時30分
午後4時30分
☎(43) 1323